

ヘッドハンティングの超プロが見てきた、

3年後、

転職する人、
起業する人、
会社に残る人

HOW TO MAKE
YOUR WORKING LIFE VALUABLE

佐藤文男

はじめに

これからのビジネスパーソンの生き方を考えるとき、転職のみならず、起業という選択も身近になってきました。一方で、新卒で入社した企業で定年まで勤め上げることも、大切な生き方であることには変わりはありません。つまり、今後のビジネスパーソンは、「転職への道」「起業への道」「現在勤務する会社に残る道」の3つの選択肢の中で、将来のキャリアを模索する時代となったのです。

私も新卒で就職して以降、これまで転職・起業のいずれも経験してきましたが、一方で、大学同窓の同期世代から、新卒で入社した会社にそのまま勤務を続けて、取締役や執行役員に就任している人間が徐々に出てきています。

ビジネスパーソンの生き方は千差万別で、どの道を選ぶのが正解ということはありません。読者の皆さんにとっても、今後「転職」「起業」「現在の会社に残る」という選択を考える場面が出てくるかと思われます。

私自身は、自らを実験台にというわけではありませんが、最初に入った総合商社から、外資系金融↓メーカー↓人材紹介（人材サーチ）会社と計三度の転職を行い、その中で、成功も失敗も数多く経験してきました。その後、43歳のときに人材サーチ会社を起業します。起業前に所属していた会社と合わせると、人材紹介のビジネスに携わって今年で19年目を迎えます。

まだ日本で「人材紹介」という仕事自体が認知されていなかった時代から現在まで、私は3000人以上の転職候補者と面談してきました。この仕事でお会いした方は、キャリアを持った20代後半の若手から、上は50代・60代のベテランまでさまざまですが、中心は30代後半以降の「エグゼクティブ」や「プロフェッショナル」と呼ばれる方々です。

こうした人たちと日々、お会いする中で、私自身の目も磨かれてきました。

本書では、私の今までの実体験をベースに、主に20代後半から30代にかけてのビジネスパーソンに対して、今後のキャリアの選択肢となる「転職」「起業」「現在の会社に残る」の3つの道について解説します。具体的には「スキル」や「人間関係」な

ど、章ごとにテーマを設け、章内でそれぞれ3つのパートに分けてお話しします。

転職を考える人にとっては、会社に残った場合のことを踏まえておくのは必須ですし、会社に残るにしても、今や起業家的な思考は欠かせません。起業する人も、個人事業的な会社でもなければ、まずは新卒採用ではなく中途採用による転職者を受け入れる必要が出てくるでしょう。その意味では、どの道を選ぶにせよ、3つのパートを通読していただくことをおすすめします。それぞれのキャリアパスや立場、必要な考え方などを知っておくことが、あなたの選択肢、ひいては仕事人生に、より戦略性や深みを加えるのです。

読者の皆さんの今後のキャリア選択に、本書が少しでも助けになるのであれば、著者としてこの上ない喜びです。

2015年6月吉日

著者

プロフィール

33歳、山下さんの悩み

山下健二さん（仮名）は現在33歳で、あるメーカーに勤めています。新卒で入社以来、営業として仕事をしてきました。同期の中では出世は早くもなく遅くもなく、30歳で主任となり、今年になって課長補佐に昇格しました。

これまで山下さんは、国内営業だけではなく、海外への輸出営業にも携わってきました。国内営業を5年経験したあとで、現在の海外営業のポジションに異動になり、そこから6年のキャリアを積んでいます。

山下さんは、入社時にはTOEICのスコアが600点にも達していなかったのですが、海外営業では仕事の上でも否応なく英語を使うため、時間を割いて勉強し、また社費での英語研修制度を活用したりもして、現在はなんとか800点

以上のスコアを取れるようになりました。今の流れでは、35歳前後には、営業配属後から憧れが強くなってきたアメリカ駐在の話が実現する可能性が高いと思われます。

一方で、「このまま今の会社で定年まで勤めて、自分として、のちのち後悔しないだろうか……」とぼんやり考えてもいました。

実は彼は新卒の就職活動中、将来は商社に入って、海外で仕事をしたいと思っていたのです。でも、就職氷河期もあって商社は狭き門。残念ながらその夢はかなわず、内定をもらったメーカーに就職したのです。

しかし、国内営業と海外営業のキャリアを順調に積んできた今、あらためて、就職活動時の夢をどこかでかなえたいとも思っていました。

山下さんの父親は普通の会社勤めなのですが、祖父がかつて会社を経営していた、その話を家でよく聞いていたこともあり、幼いころから起業や会社経営にもちょっとした興味や関心を抱いていました。

山下さんはメーカー入社後も、学生時代から親しかった仲間3人と居酒屋でたまに飲んでいました。そのうちの一人、高橋和樹さん（仮名）が、インターネットを使ったビジネスモデルの話をよくしていて、飲んだときは3人で「ああでもない、こうでもない」と議論をするようになっていました。

話が少しずつまとまっていったって、ビジネスモデルとしてもメドが立ち、1カ月ほど前に会ったあとは、山下さんも「あいつの思いつきも、なんだかんだ言ってる、ビジネスとしてやれそうなレベルまできたな」と思っていたところでした。そうした矢先、つい数日前の飲み会の席で、高橋さんから「俺と一緒に会社をやるらないか」と真剣な起業の誘いを受けたのです。

山下さんは2年前に結婚し、子どもはいません。中堅の流通小売業で経理をしている3歳年下の奥さんからは、「あなたの決断に任せるわ。私は今の仕事を続けても辞めても、どちらでもいいし」と一任されてはいるものの、「でも、今の会社でも、そこそこ評価されているんじゃないの?」と、本音としては今の会社に残ってほしいような口ぶりでもあります。

彼は今、商社に転職するか、仲間と起業をするか、それとも会社に残るか、とても悩んでいます。

あなたが山下さんなら、どんな選択をしますか？
ぜひ、本書を読みながら考えてみてください。

はじめに 3

プロローグ 33歳、山下さんの悩み 6

転職する人の人生戦略

転職で自分がどういうステージに上がるか 20

4つのキーワード「職種」「業種」「勤務地」「種類」 21

40代、50代の自分もイメージする 23

履歴書を汚さないために 26

起業する人の人生戦略

起業する人は「起業向きかどうか」が重要 28

ワンマンの場合は、人をまとめられるワンマンであれ 30

自分に不足していることを常に学ぶ姿勢 34

第1章 人生の 戦略を立てる

第2章 スキルの 再チェック

転職する人に必要なスキル

転職のための6つのスキル 60

職種別スキルのポイント (管理部門) 63

職種別スキルのポイント

(営業・マーケティング・商品開発・店舗運営) 66

職種別スキルのポイント

(エンジニア・製造/生産管理・事業企画/開発) 69

どういう人と組めるか 35

自分に厳しくあたれるか 36

これまでの自分の「人望」を見直してみる 38

「まとめ」あなたは起業に向いている人か 39

会社に残る人の人生戦略

キャリアアップは「転職」や「起業」だけではない 41

「出世する人」の10の習慣 43

起業する人に必要なスキル

起業のための9つのスキル 72

会社に残る人に必要なスキル

会社に残ってキャリアアップするための9つのスキル 79

転職するのに必要な専門性

他社でも通用するものが「キャリア」 92

自分のキャリアを書き出してみよう 93

転職の際の職種・業種の選択基準 95

資格よりも実務経験が重要視される 97

資格や経験以上に実績 98

専門性が見つからないときは 99

第3章 専門性を 持っているか

起業する人に必要な専門性

8つの専門的能力 101

起業で一番重要な「人望力」 105

会社に残る人に必要な専門性

スペシャリストの道か、マネジメントの道か 107

社内ネットワークを築く 108

第4章

すべては 人間関係

転職する人に必要な人間関係

「ゼロクリアボタン」を押せるか 116

まずは「聞く」こと 117

起業する人に必要な人間関係

少人数であっても常にコミュニケーションを意識する 120

売上を出すためのコミュニケーション 121

起業する人の3つのキーワード 122

会社に残る人に必要な人間関係

上から可愛がられる力と、下から尊敬される力 125
好かれるための5つの改善ポイント 126

転職する人に必要な教養

第5章 教養を 身につける

なぜ、「知識」「教養」が大事なのか 134

転職の知識を得るには 135

履歴書・職務経歴書を書いてみる 137

転職環境はどうか確認する 138

転職試験の基礎知識 139

起業する人に必要な教養

経営哲学から生の経営術までを学ぶ 142

プロフェッショナル
になる
第6章

教養としてのゴルフ 144

一流のものを知る 145

家族と並んで大事な親友の存在 147

会社に残る人に必要な教養

ネットの時代だからこそ本を読む 148

仕事で自分を高める 150

「自分ノート」をつける 151

あえて料理を学ぶ 152

文化的な趣味が世界を広げる 154

転職して

プロフェッショナルになる

転職して何になるか、2つの道 160

転職して成功するとは 163

起業して

プロフェッショナルになる

会社を長く継続させることこそ重要

164

「譲る・止める・やり直す」ができるか

165

お金を融通してくれる才覚

166

会社に残って

プロフェッショナルになる

「会社」という資産

169

会社に残ってプロフェッショナルを目指す道

172

いつでも転職・起業の道はある

173

第7章
パターン別
キャリア選択の
注意点

注意すべき

トランジション・パターン

最近よく見る6つのパターン 180

A .. 20代のうちに短い期間で転職を繰り返す 181

B .. 就職して8年↓転職 185

C .. 就職して8年↓起業 187

D .. 「生涯一社」のつもりでいたが↓転職 189

E .. 学生時代から就職せずに起業↓転職(就職) 190

F .. 就職↓転職↓起業↓転職(就職) 192

「生涯現役」を実現するために 193

おわりに 201

Column
実体験から見た
キャリアアップ

- ① 新卒で偶然にも人事の仕事に 54
- ② 外資系企業での経験 87
- ③ 異業種・異職種で製造業に転職 129
- ④ 人材紹介の会社に再々転職 155
- ⑤ 人材紹介業界でいよいよ起業 174
- ⑥ 海外赴任、そして再起動 196
- ⑦ シンガポールでの悪戦苦闘 196